

総合戦略施策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	<p>子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図る。</p> <p>また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行う。</p> <p>さらに、地域ぐるみで子育て支援体制を構築し、安心して子育てできる環境整備を図る。</p> <p>また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組む。</p>

数値目標

指標名	基準値	目標値
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32% (平成27年度アンケート)	40% (平成31年度アンケート)
合計特殊出生率	1.19 (平成25年度実績値)	1.4以上 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
子育て環境に対する町民の評価（加重平均）	0.18					上昇	[参考] H28アンケート 0.22
年少人口割合	10.7%					10.2%以上	
待機児童数	10人					0人	

【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子ども・子育て家庭への切れ目のない支援実現プロジェクト	
子どもを安心して預けることのできる保育・子どもの居場所づくりプロジェクト	I
成果や課題（箇条書き）	<p>安心して預けられる保育の実現のためには待機児童数0人の目標達成が必要である。そのためには今後、3歳以上の入所の受け皿を確保することも必要である。更に就学以降、保護者の負担軽減を図るために学童保育の運営主体について検討を行う。</p>

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II：一部、事業を改善する必要がある
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	<p>待機児童0人の目標達成のため、駅前に保育所の開設を目指し、準備を進めるとともに、安心して預けられる保育の実現に取り組んでいる。また学童保育については、運営主体の変更に向け、保護者会への説明や話し合いを重ねている。</p>

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>待機児童0人という目標を達成し、それを維持し続けるためには、今後、3歳以上の入所の受け皿の確保が必要である。</p> <p>また、学童保育の運営主体の変更については、保護者会運営から委託の方向で、町、委託業者、保護者会と協議しながら進めていく。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他 []
意見等	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくるためには、妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援は重要な施策であることから、今後の方向性に沿って、必要な調整を早急に行うと共に、現状の支援内容についても、強化・充実を図る必要がある。